

黑龍江省檔案館編

東北日本移民檔案(黑龍江卷) 1

廣西師範大學出版社

黑龍江省檔案館編

東北日本移民檔案（黑龍江卷）
1



廣西師範大學出版社
· 桂林 ·

目 录

| | | |
|----|--|-----|
| 1 | 商业移民与满洲国的关系 (秘) 满铁产业部 一九三七年一月…………… | 1 |
| 2 | 满蒙商业移民实施计划要纲 (极秘) 满铁产业部 一九三七年二月…………… | 28 |
| 3 | 关于渔业移民问题 (秘) 满铁产业部 一九三七年二月…………… | 61 |
| 4 | 日本人移民地汇报 第三 (极秘) 满铁产业部 一九三七年四月二十二日…………… | 66 |
| 5 | 日本人移民地汇报 第四 (极秘) 满铁产业部 一九三七年四月…………… | 97 |
| 6 | 南满绕阳河流域及莲花泡附近湿地开拓实地调查概要 (秘) 满铁产业部 一九三七年四月…………… | 106 |
| 7 | 满洲拓植株式会社获取土地状况(日本移民关系参考资料) (极秘) 满铁产业部 一九三七年六月…………… | 120 |
| 8 | 在满洲的日本农业移民概况 满洲中央银行调查课 一九三七年八月…………… | 156 |
| 9 | 扶助发展农业移民方策协商会第一次报告 (秘) 满铁产业部 一九三七年九月…………… | 156 |
| 10 | 一九三七年度拓务省移民团农作物产量调查 北满农业移民情报(其四) 满铁北满经济调查所 一九三七年十一月十八日…………… | 197 |
| 11 | 拓务省移民团的房屋建设状况 北满农业移民情报(其六) 满铁北满经济调查所 一九三七年十一月十八日…………… | 218 |

| | | |
|----|------------------------------------|-----|
| 12 | 关于拓务省移民团畜产方面的若干资料 北满农业移民情报(其八) | |
| | 满铁北满经济调查所 一九三八年四月一日 | 234 |
| 13 | 第四次哈达河移民团概况 哈达河移民团本部 一九三八年一月 | 257 |
| 14 | 龙江省移民关系事项概要 龙江省公署民政厅 一九三七年六月 | 282 |
| 15 | 关于招垦地原居民的换地问题 | 293 |
| 16 | 铁道自警村经营经济实绩及其对策(其一) 北黑线龙镇、京台线柴岗自警村 | |
| | 满铁北满经济调查所 一九三八年三月十四日 | 296 |
| 17 | 满洲开拓青年义勇队训练所概要 满洲拓植公社 一九三八年三月 | 332 |
| 18 | 建设及经营通河县新立屯地区农业计划案 满铁调查部 一九三八年十二月 | 342 |
| 19 | 关于各地开拓农户适当规模问题的研究 第二报 林野委员 | 438 |
| 20 | 带岭林业开拓团农户经营标准案 开拓总局 林野局 | 480 |

昭和十二年一月

商工課長

商業移民と滿洲國との關係

滿鐵。產業部

商業移民ト滿洲國トノ關係

本案ニ依ル商業移民ト滿洲國トノ關係ニ就キテハ

1、滿洲國協同組合トノ關係

2、既存滿商トノ關係註(一)ノ(一)

ノ二點ニ付キ其ノ影響ヲ考察スルコトヲ要ス

ス

別ニ商業移民ハ中間搾取的存在ニ非スヤノ疑

問ヲ有スルモノナキニ註(一)サルヲ以テ、其ノ然

サル所以ヲ併セ説明スヘシ、(二)ノ、既存滿商ト

ノ關係ハ主トシテ別篇ニテ細説シ本篇ニテハ

政策ノ一部ニ止メタリ

(一)商業移民ト中間搾取

中間搾取論ハ直接配給ニ依ル商人排除ノ可

能ヲ前提トシテ成立スルモノナレハ、先ツ

註(一)ノ(一)滿洲國官治組合ト商人トノ摩擦ハ既存滿商ト商業移民トノ摩擦以上ナリト豫斷セラールニ付其ノ對策ノ一部ヲ取扱ヘリ

註(一)ノ(二)中間搾取ナラサル場合一〇〇ノ資本ニテ一〇〇ノ利益アル生産者力更ニ一〇〇ノ資本ヲ投シテ製品ノ直接販賣ヲナシ一〇ノ利益ヲ收メタル場合ハ結局二〇〇ノ資本ニテ二〇ノ利益ヲ舉クルニ過キサレハ此ノ場合商人ノ一〇ノ利益ハ中間搾取ニ非ス

-6-

其ノ前提ヲ理論的ニ檢討シテ商業存在ノ意義ヲ述ヘ、次ニ滿洲國ノ現状ヨリ商業移民ト中間搾取トノ關係ヲ説明スヘシ

(A) 直接配給ト輸入商品

直接配給ニハ種々アレ共本項ニテハ其ノ一般的批判ヲ省略シ、商業移民ノ主要取扱商品タル輸入商品即製造品ノ直接販賣

就キ略述スヘシ(註ニ)

現代ノ如キ高度資本主義經濟ニ於テ生産企業ノ規模擴大シ其ノ獨占的地位強化サレツツアル場合ニハ其ノ直接販賣ヲ容易ナラシメ且諸種ノ事情ヨリ一部實行中ナルモ、尙其ノ範圍ハ左記三ツノ主要ナル理由ヨリ大ナラス、之直接販賣必シモ生産者ニ有利ナラサルヲ以テナリ。

註(一)直接配給ニ依ル商人排除ノ傾向ハ生産者側即チ工場及組合並消費者側即チ購買組合ヨリ起ル、中組合運動ニ依ル直接配給ノ限界ニ對テハ別篇參照ノコト他ニ商人相互ノ排除アルモ關係ナキヲ以テ省略セリ

註(二)獨占企業ノ價格統制、商人競争ニヨル統制價格維持ノ困難ナル場合、特ニ生産者ニヨル需要ノ喚起、強力ナル販賣、修繕廣告等ヲ必要トスル場合ニ直接販賣ハ實施セラレツツアルモ、尙經營規模等位ニアル相互間、例ヘハ鐵山下大工場、工場ト大百貨店、連鎖店間等以外ハ困難ナル實狀ナリ

-7-

1、資本的關係ヨリ、生産資本ニ比シ配給資本ハ二倍乃至三倍ヲ必要トスルニ配給資本中ニ占ムル固定資本ノ割合ハ生産資本ノ如ク大ナラサルヲ以テ、大量販賣ニヨル資本収益率ノ遞増ハ大量生産ニヨリ原價ヲ遞減スル生産資本ノ如ク大ナラス。逆ニ資本回轉率ノ低下ハ費用遞増ノ豫期セサル缺陷ヲ起ス事アリ。(註三)

2、管理技術上ヨリ、生産商品販賣ノ最前線ニ至ル配給全體ノ管理即チ直接配給機關ノ監視監督ハ巨大獨占企業ト雖現在ノ管理技術上ヨリハ困難ニシテ、却ツテ其ノ收益ハ其ノ經費ヲ補償シ得サルヘシ(註四)(註五)

註(三)商店經營ハ資本並商品回轉率ノ向上ニヨル金利其ノ他經營費ノ低減ヲ計ルヲ特徴トス、組合又ハ工場ノ販賣經營ハ自己ノ存在ヲ賭スル商人ニ比シ劣ル、

註(四)獨逸のルツル調査委員會のシテケール直接販賣ハ技術上不可能ナリ、巨大ナル施設、其ノ經費、廣大ナル人員ノ監督ハ經濟的ニモ技術的ニモ困難ナルヲ以テ其ノ責任ヲ轉嫁スヘキ商人ヲ必要トス

註(五)滿鐵ト傍系會社及商事會社トノ關係モ亦一例ナリ

-8-

3、經營經濟上ヨリ單一商品ノ直系配給機關ノ經營ハ多種商品ヲ組合セ經營スル場合ニ比シ不利ナリ、此註六點ニ於テ現在ノ商業ハ取扱商品ヲ取引事情、保管、販路、價格其ノ他關係ヨリ撰擇シ主トシテ商店經營上合理的ナル商品ヲ組合セ經營セルモノナルヲ以テ其ノ配給費ハ却ツテ低減セラレ逆ニ組合又ハ工場ノ直接配給ノナシ得サル損失平均化ノ特徴ヲ有ス（註七）

況ンヤ地ヲ異ニシ取引事情不明ナル輸入商品ノ場合ニ於テオヤ、之輸入商品配給上ニ於ケル國內商業存在ノ理由ナリ、故ニ其ノ利益ハ必シモ中間搾取ナリト稱シ得サルヘシ（註八）

註六工場ノ直接販賣ヲ可能ナラシメル一條件ハ其ノ製品多種類ニシテ一括取扱得ル場合ナリ

註七鳳城煙草組合ハ三井ヲ經テ販賣セリ、然ルニ昨年度組合ハ其ノ缺損ノ一部ヲ三井ニ負擔セシメタリ、之三井ノ組合セ經營ニヨル損失ノ平均ナリ、此ノ事ハ反對ニ單一商品ヲ取扱フ組合ニ於テハ損失ノ負擔能力ヲ缺クトモ稱シ得ヘシ

註八輸入商品配給上均場滿商ヨリ商業移民ヲ必要トスル理由ハ後記商業移民ノ貿易的使命參照ノコト。

(B) 商業移民ト中間費用

右ハ中間搾取ヲ容認シ能ハサル理由ナルモ、茲テハ假リニ夫レヲ認メテ商業移民トノ關係ニツキ述フヘシ中間搾取論の見方ヨリスレハ、商業移民モ既存滿商モ同一ナル立場ニアルヲ以テ、滿洲國カ積極的ニ商人排除ノ政策ヲ採用セサル以上、單ニ商業移民ハ中間搾取機關ヲ増加スルモノナリトノ非難ノ他ナカシルヘキモ、夫レハ商業移民ノ量的一面ノミヲ見テ其ノ質的方面ヲ看過セル爲ニ生スル疑問ナリ。何トナレハ商業移民ハ少クトモ既存滿商ニ比シ履歷、人格、訓練組織、經營^(註九)於テ優秀ナラシムヘキ方策ナレハ其ノ奧地滿商ニ對スル指導的影響

註(九)移民案組織方法參照ノコト略言スレハ移民ノ素質優秀ナル他ニ組織ニ於テ非營利機關タル輸入會社及貿易館組合ヲ中心トスル任意連鎖店形態ニヨル、合理化サレタル進歩的機構ナリト稱シ得ヘシ。別ニ移民ニ對スル政府ノ統制力ハ政府ノ中小商業對策ニ後述スル如ク積極的ニ寄與スルコトヲ得

ハ直接間接ニ奧地商業界ノ進歩發達ニ寄
與スルモノナリトシテ立案セラレタルモ
ノナレハナリ。故ニ論者ノ憂ウルカ如ク
中間費用ノ増加ヲモタラスコトナク、逆
ニ取引ノ正常化ハ其ノ低減ヲ可能ナラシ
ムヘシ。

(二) 滿洲國農事組合政策ト商業移民

(A) 滿洲國農事組合ノ動向

滿洲國內既存農事組合ノ過去並現狀ヲ分
析シ、更ニ五箇年計畫ト農事組合政策ノ
將來ヲ想定スルニ、農事組合ノ事業ハ自
然的ニモ政策的ニモ其ノ生産事業ニ重點
ヲ置キ、次ニ生産遂行ニ必要ナル金融並
販賣事業ヲ以テ補完シ、購買並利用事業
ハ特殊ナル場合ノ他從的立場ニアリト言

註(一) 既存組合ノ購買ヲ必要トセ
シ場合左ノ如シ

- (1) 特用作物即チ煙草果樹等ニ於
ケル肥料、藥劑、荷造材料、
熱料其ノ他ノ共購
 - (2) 普通作於ケル農具ノ共購
 - (3) 生産獎勵的立場ヨリスル種子
ノ配給
 - (4) 棉花ノ特種事情ヨリスル繰綿
機ノ利用
 - (5) 五箇年計劃ノ特殊事情ヨリス
ル倉庫ノ利用
- 右概シテ生産用品ニ限定サル

ヒ得ヘシ。特ニ商業移民ノ取扱品タル消費用品ノ購買事業ハ諸種^{註(二)}ノ事情ヨリ時間的ニモ實質的ニモ其ノ全面的發達ヲ期待スル事困難ナラン。

理由

1、滿洲協同組合事業上ノ特質(生産事業)

最近年ニ於ケル北滿各地ニ藪出セル組合類似運動ヲ除キ^{註(三)}南滿ニ於ケル煙草、果樹、綿花其ノ他ノ組合ハ農事ノ改良生産ノ獎勵ヲ主タル動機トシテ結成サレタルモノナルヲ以テ、自然生産組合的傾向ヲトリ來レリ。此ノ事ハ必スシモ右過去數種ノ特用作物ニノミ限ルモノニ非スシテ、將來

註(二)經濟的並政治的事情ニシテ後者ハ國內中小商業對策前者ハ組合事業ノ限度ニ關聯スル事情ナリ

註(三)吉林省ノ二荒地共同販賣ハ開墾ヲ動機トシ、其ノ他青崗、富裕、突泉等各地ノ組合類似運動ハ縣ノ販賣改善ニヨル農村救濟並稅源ノ確保ノ二點ニアリ、故ニ皆一樣ニ販賣ヲ主トシ購買ハ僅カニ青崗、富裕ニ於テ小規模ニ著手セルノミ

五箇年計畫ノ遂行上將勸作物ノ種子ノ配布、生産ノ劃宛、既耕地ノ轉換、未耕地ノ開墾等ヲナス場合ニ於テモ同様ナリ。何トナレハ種子ノ配布ヲナス場合ニ於テモ自然組合ノ結成ヲ必要トスヘク、且其ノ指導ヲナス場合ニモ其ノ對象ハ組合ニ置カレサルヘカラサルヲ以テナリ。^{註(四)}況ヤ農會ト農事組合トヲ同一機構ノ下ニ置カムトスル滿洲國ノ農事政策下ニ於テヲヤ。特ニ五箇年計畫ノ劃期的成功ヲ期セムトスル場合ニハ、假令將來ノ農事組合ノ理想目標カ四種兼營ノ綜合化ニアリト雖モ、組合事業現實ノ重點ハ生産ニ集中セラレサルヘカラス。

註(四)即チ組合ハ一過去ノ耕作組合果樹組合ト同シク、當然結成セラレヘキモノナリ。之日本其ノ他外國ト設立ノ動機ヲ異ニスル點ナリ、組合事業ニ於テモ此ノ點ニ立脚シテナサルル事肝要ナリト思料セラレ。

註(五)巷間傳ヘラルル四種兼營ハ理想ヲ示シタルモノト解セラレ

-13-

即チ過去現在將來ヲ問ハス滿洲農業開發線上ニ萌出ル協同組合カ其ノ事業ノ重點ヲ生産ニ置ク事ハ、他國ト事情ヲ異ニスル滿洲協同組合ノ自然的傾向ナリ。茲ニ滿洲協同組合ノ特徴ヲ見出ス事ヲ得ヘシ。之ヲ人的關係ヨリ見ルモ主ニ技術者ニ依リ創設運營セラレサルヘカラサル組合ハ生産關係事業ニ集中專念シテコソ其ノ正常的發達ヲ期待シ得ルコト過去ノ組合ノ實績ノ示ス如クナリ。註(六)

斯クノ如ク生産事業ニ重點ヲ置カルヘキ農事組合ニ於テ生産ノ延長トシテ第二次的ニナサルヘキ事業次項以下ノ如シ。

註(六)既設組合ハ生産以外ニ見ルヘキモノナク、其ノ他ノ事業ハ失敗ノ歴史ナラン、參考ノ爲左ニ三、三例ヲ示ス

(1) 滿洲果樹輸出版賣組合、十一年度決算

組合取扱高百圓ニ對スル經費ノ割合六四%

人件費 三八%

事務費 一四%

販賣費 四%

會議費 八%

補助金七千圓、一箱當一圓二八錢(三圓五〇錢トシテ約二八%)

(2) 滿洲棉花公司

康德二年度決算

收買棉花(繰綿)百斤ニ對スル經費十四圓(六〇圓トシテ約二五%)

-14-

若シ今後ノ農事組合カ傳ヘラルル如ク
 變質シテ官治的強制組合ノ形態ヲトル
 場合ニハ下記ノ事業ハ寧ロ其ノ義務的
 性質ヲ帶ヒ來ルヘシ

備考 遼陽糧棧六
 一〇〇斤ニ對スル 經費一圓五
 六錢一六〇圓ニシ

-15-

2、生産事業ト販賣事業トノ關係

市場經濟ニ於ケル農村ニ於テ生産獎勵ノ目的ヲ達セムトスレハ、其ノ生産物ヲ有利ニ處分セサルヘカラス。之ヲ組合運動ニ就キ見ルニ文化低ク利ニ敏キ滿洲農民ニ對スル組合的訓練ノ要諦ハ理論ニ非ス實利ニアルヲ以テ生産物ノ有利ナル處分ヲ必要トス。特ニ官治的強制組合ニ於テ組合力強制的ニ生産セシメタルモノハ其ノ販賣價格ニ對シ組合ハ責任ヲ有セサルヘカラサル關係ニ立ツヘシ（註七）

3、生産事業ト金融事業トノ關係

貨幣經濟ニ於ケル生産ハ金融ト密接ナル關係ニアルヲ以テ積極的ニ組合カ生

註(七)此ノ事ハ必スシモ組合ヲシテ直接販賣ヲ積極的ニ爲ラザルニ理由トハナラサルヘシ。別編「組合ノ批判」參照

産事業ヲ擴充セムトスル場合ニ於テハ
 組合カ直接金融事業ヲナスコトヲ必要
 トスル場合アルヘシ。特ニ官治的強制
 組合ニ於ケル生産資本ノ調達ハ組合ノ
 責任トナルヘシ（註八）
 4、生産事業ト購買事業トノ關係
 組合事業ヲ形式的ニ販賣及購買ノ兩事
 業ニ分スレハ、農家生産用品即チ農具
 種子、肥料其ノ他出荷材料等ハ消費
 品ノ購入ト共ニ一括シテ組合購買事業
 トシテ取扱ハルヲ一般トスルモ、實
 質的ニ検討スレハ生産用品ハ生産資本
 ヲ直接構成スルモノナレハ、消費用品
 トハ區別セラレサルヘカラス。特ニ滿
 洲ノ如ク農業ノ開發ヲ必要トスル場合

註(八)組合ヲシテ生産資本以外ニ
 全面的ニ金融事業ヲ兼營セシメ
 ルコトハ別個ノ問題ナリ
 滿洲果樹組合ノ生産並に出荷金融
 ハ堅實ナリト認め難シ